

大規模土砂災害を想定した 合同防災訓練を実施しました。

令和2年1月15日に、大規模な土砂災害が発生したときに、国・県・市町村が相互に協力し、迅速かつ円滑に対応する能力を高めるために、湯沢砂防事務所、新潟県、湯沢町の防災担当者が一堂に会して、災害発生時の対応行動について確認するとともに、連携を深めることを目的として、合同防災訓練を実施しました。



訓練の様子



湯沢砂防事務所の対応を説明する
赤沼事務所長



湯沢町の対応を説明する
田村湯沢町長

訓練後の振り返りでは…

- ・他機関の対応についてよくわかった。
- ・国・県・市町村のみならず、JR等の民間とどのように連携するのか、対応策を検討すべき。
- ・地域住民への情報共有が課題である。

という意見があげられました。

次回は、津南町との合同防災訓練を予定しております。